

～認知症ケアの最初の一步～

身近な人が
認知症になったら
あなたはどうする？

2025. **12.7** [SUN]

①ワークショップ 11:00-12:30
②対話会 14:00-15:30



参加費

①2,000円 (1D付)
②チャージ1,000円
+ドリンクオーダー

古川 信之
福岡県オレンジチューター
作業療法士

12/7(日) ①ワークショップ 11:00-12:30 ②対話会 14:00-15:30

身近な人が認知症になったら、あなたはどうする？ ～認知症ケアの最初の一步～

認知症は多くの人が知っている病気ですが、「具体的にどう困るのか」「どう対応すればよいのか」を知る機会はまだ限られています。

今回は、認知症ケアの専門家として現場で800名以上の方に関わり、ナビゲーションBOOKを制作された古川信之さんを講師に迎え、地域医療や暮らしの中での認知症ケアと一緒に考えるイベントを開催します。

古川さんは、認知症当事者やその家族が「迷子にならない」ように、適切な医療・行政サービスにたどり着くための行動をわかりやすくまとめたワークブックを開発されました。

そこには、「まず誰に相談すればいいのか」「何から始めればいいのか」といった初期対応から、コミュニケーションの工夫や生活支援まで、実践的なヒントが詰まっています。

認知症のケアは「その人だけを支える」ことではなく、家族や地域、周囲との関わりを含めた環境づくりがとても大切です。

今回のイベントでは、現場での実践を通じて見えてきた「人と環境の調整」という新しい視点を共有します。

当日は

①ワークブックを使ったワークショップ **11:00-12:30**

②対話会 **14:00-15:30**

の2部構成で開催します。

①ワークブックを使ったワークショップでは、古川さんの経験に基づいた認知症ケアの実践やワークブックの活用法について学びます。

②の対話会では、ざっくばらんに参加者の皆さまの状況などを分かち合いながら、地域全体でどう支えていけるかを考えていきます。

お時間や関心の深さによって選択していただければ幸いです。

<こんな人におすすめです>

- ・身近な人の「もしかして認知症かも？」にどう対応すればよいか迷っている方
- ・家族や地域で認知症ケアに関わる可能性があるけれど、最初の一步がわからない方
- ・医療や介護の専門職として、わかりやすく人に説明できる知識を身につけたい方
- ・「認知症になっても安心して暮らせる社会」をどうつくるか、地域の視点で考えてみたい方
- ・実践的な工夫やコミュニケーションのヒントを知りたい方

<講師プロフィール>

古川 信之(作業療法士)

福岡県オレンジチューター。作業療法士として高齢者のリハビリテーションに携わる。特に認知症を有する高齢者のリハビリを専門とし、これまで急性期・回復期・維持期・在宅分野と幅広く経験。所属法人では職種を問わず認知症ケアの指導を行い、多職種向けセミナーを継続的に開催。地域に向けてもセミナーを行い、専門職の育成に取り組んでいる。認知症高齢者とのコミュニケーションメソッド「バリデーション」の指導資格(国内で約20名)を持ち、講師としても活動している。

日時: 2025年12月7日(日) ①ワークショップ 11:00-12:30 ②対話会 14:00-15:30

場所: 中洲屋スナ「役にたたなくてもいい場所」

福岡市博多区中洲2丁目7-5 第3タワービル2階 bar Day-Break

参加費: ①2,000円(1ドリンク付) ②屋スナ通常料金(チャージ1,000円+ドリンクオーダー)

申込: 右記QRコード

お問合せ: 090-5476-2361

